

事業所名 放課後等デイサービスMiRaKuRu知多

支援プログラム（参考様式）

作成日 2025年 3月 15日

| | | | | |
|-----------|-------------|---|---------|--|
| 法人（事業所）理念 | | 私たちは会社員と家族や大切な人の幸せ、関わる人全ての幸せに貢献する企業であり続ける | | |
| 支援方針 | | 障がいを持つ方々が教育の機会に恵まれないことが原因に必要なスキルや資格の取得が困難になることを防ぐため、個々の障がい特性や成長段階に合わせた教育および就労支援を行っています。利用者様が自分らしく成長できる環境を整え、未来への一歩を後押しすることを目標に、一人ひとりに寄り添い、きめ細やかな支援を提供することで、自信を持って社会に出られるようにサポートします | | |
| 営業時間 | | 10時 0分から 19時 0分まで | 送迎実施の有無 | あり なし |
| 支援内容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣の指導：食事のバランスや睡眠時間の管理、日々の生活の中での健康維持を意識するプログラムです。例えば、簡単な料理教室を行って食事の重要性を学ばせたり、健康チェック（体温など）を定期的実施して、自分の体調に気を配る習慣を身につけさせます。 自己管理トレーニング：毎日の生活リズムを管理するためのスケジュール作成や、生活の中でのチェックリスト（例：服薬管理、掃除・整理整頓）を用意し、自己管理能力を高めます。 休み方のトレーニング：「ストレッチ」、「軽い散歩」、「何もしない時間を作る」、「自然と触れ合う」などのプログラムを実施しています。 | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> 運動プログラム：体力作りのための簡単な運動や、体を動かしながら感覚を鍛える活動です。例えば、ストレッチ、ダンス、マット運動などを通じて、身体的な健康を維持しつつ、体の使い方を学びます。 感覚刺激活動：感覚過敏や感覚の偏りがある場合には、感覚統合を目的とした遊びや訓練を行います。例えば、視覚や聴覚を使ったゲーム、触覚を刺激する素材（粘土、布、砂など）を使った作業を通じて、感覚を調整する支援を行います。 手先の訓練：「簡単な事務作業」、「パソコン操作」、「業務に合わせた職業訓練」、「工作・アート」などの活動を取り入れています。 | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> 問題解決トレーニング：課題解決能力を養うために、簡単なパズルやロジック問題に取り組んだり、日常生活での選択肢を考える場面を設定します。例えば、買い物やシミュレーションし、予算内で必要なものを選ぶ訓練を行います。 行動調整トレーニング：自分の感情をコントロールする方法や、適切なタイミングで行動を調整するための支援です。ストレス管理や衝動的な行動を抑える方法を学ぶためのリラクゼーション法を取り入れています。 | | |
| | 言語コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションスキル訓練：ロールプレイやグループ活動を通じて、挨拶や感謝の気持ちを表す方法、意見を伝える方法などを学ばせます。例えば、子供だけの会議で会話を練習したり、社会的な場面での適切な表現（例：模擬店、面接の練習）を実践します。 言語表現の支援：ChatGPT、Excel、Word、メモを使って文章作成や話し方を練習するために、対面コミュニケーションや簡単なスピーチの練習を行い、言語表現力を向上させます。さらに、非言語的コミュニケーション（ジェスチャーや表情）を使ったカードゲーム活動も取り入れています。 | | |
| | 人間関係社会性 | <ul style="list-style-type: none"> グループ活動：集団での協力やチームワークを学ぶために、共同作業（例えば、工作やグループゲーム）を行います。協力して一つの目標を達成する経験を通じて、社会性を育むことができます。 社会ルール学習：日常生活や社会に必要なルールやマナー（公共の場でのマナー、順番を守る、相手を尊重する）を学ぶために、シミュレーションやディスカッションを行います。また、相手の気持ちを考えるトレーニングとして、感情を読み取るワークや、「もしも」のシナリオを用いたロールプレイも取り入れています。 | | |
| 家族支援 | | 保護者面談：利用者の状況や支援計画について、保護者と共有・相談を行い、安心して支援を受けられる環境を整備。 関係機関との連携：医療機関や教育機関など、関連する各種機関と密接に連携し、利用者や家族を総合的にサポート。 | 移行支援 | インクルージョンを推進する観点から、子どもや家族の意向等も踏まえつつ、併行利用や移行に向けた支援、同年代のこどもとの仲間づくり等の「移行支援」について取り組む。 |
| 地域支援・地域連携 | | 関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常的な生活や支援に活用するための具体策を提案する。 | 職員の質の向上 | ジョブメドレーアカデミーにて毎月研修を実施内容は、「緊急時の対応」、「感染症対策」、「虐待防止及び身体拘束」、「事業継続計画」など。その他行政の研修に参加。 |
| 主な行事等 | | 季節イベント：四季折々の行事を通じて、利用者を楽しみと新たな体験を提供。 外部の放課後等デイサービスとの合同イベント（外出レクやオンラインでのコミュニケーションなど） | | |